

令和6年度広陵町地域公共交通活性化協議会事業報告書（案）

資料2-1

①実施概要	②実施詳細	③事業の評価、今後の方針・改善点
<p>●「広陵元気号中央幹線」の運行再編 町北東部と大和高田駅を結ぶ「広陵元気号中央幹線」について、令和7年4月から運行ルート・ダイヤの見直しを実施。 【再編内容】 ・従前、県道田原本広陵線沿いに「百済寺公園北」バス停を設置していたが、利用しにくい状況であったため、利用環境を改善するため、百済寺公園駐車場内にバス停を移設した。 ※併せて、「のるーと広陵元気号」のバス停「百済寺公園前」も4月1日から「百済寺公園」のバス停に集約した。 ・バス停・運行ルートの変更に伴い、運行ダイヤの変更を行った。</p>	<p>【実施内容】 運行再編に伴う以下の利用環境を整備。 ・バス停標柱の設置・改修・撤去 ・運行アナウンスデータ作製 ・運行ルート・マップの作製（令和7年3月号広報紙に挟み込み） ・バス停区画線工事 ・車留め移設</p>	<ul style="list-style-type: none"> 従前の課題であった、バス停が集落の入口から距離があり利用しにくい状況である事象について、バス停を百済寺公園駐車場内に移設したことにより、改善した。 従前の課題であった、夕方の便（第8・9便）が交通渋滞により慢性的に遅れが生じてしまう事象について、ダイヤ変更を行い、改善した。 今後も引き続き利用促進を行うとともに、利用実績や利用ニーズを聞き、より良い運行内容に改善していく。
<p>●予約型乗合バス「のるーと広陵元気号」の運行 町内移動を主な目的とし、令和5年7月から運行を開始した「のるーと広陵元気号」について、利用促進のため地域での説明会や利用環境の改善に努めた。</p>	<p>【実施内容】 ・システム操作・乗り方説明会を要望があった区・自治会において実施（7回、延べ97人参加）。 ・各団体からの視察申入への対応（視察4団体、セミナー発表1回）。 ・事前予約期間の変更を実施 (変更前：3日前から直前まで 変更後：5日前から直前まで) ・スマホ教室においてアプリの操作説明を実施 (14回、延べ106人参加)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度から継続して実施している利用促進の効果もあり、町民に利用方法等が普及ってきており、利用者数も増加している。 従前の課題あった、ドライバー不足、利用者ニーズに合った乗降場所の設置に対し、車両をダウンサイジングすることで改善する予定であったが、令和6年度中に車両の調達日途が立たなかつたため、令和7年度に延長して、車両調達をめざす。 車両取得後、車両ラッピングを施し、よりきめ細やかな乗降場所の設置を行う。 今後も引き続き利用促進を行うとともに、利用実績や利用ニーズを聞き、より良い運行内容に改善していく。
<p>●妊産婦タクシーチケット交付事業（実証実験） 広陵町地域公共交通計画に掲げる将来像「笑顔で出かけられるまち」を実現するため、タクシー利用の観点から、住民サービスの向上を図ることを目的に、令和6年10月から妊産婦を対象に実証実験を開始した。</p>	<p>【実施内容】 ・令和6年6月にタクシー施策に関する連携協定を株式会社GOと締結（取材3社）。 ・令和6年9月に交通施策に関する連携協定を株式会社愛和と締結（取材2社）。 ・令和6年度中に妊娠届出をした妊産婦を対象に、500円のGOチケットを12枚（申請の翌月から6ヶ月分）を交付し、妊婦健診時の移動を補助。</p>	<ul style="list-style-type: none"> GO株式会社として、「GOチケット」を活用した自治体との連携事業は全国で初の取組となった。 令和7年9月まで実証実験期間であるため、利用促進を実施するとともに、令和8年4月からの本格導入に向け、利用実績等の分析を実施する。
<p>●陣痛タクシーサービス事業の事業構築 広陵町地域公共交通計画に掲げる将来像「笑顔で出かけられるまち」を実現するため、タクシー利用の観点から、住民サービスの向上を図ることを目的に、令和7年5月から妊婦を対象に、陣痛時の医療機関までの移動手段を確保する体制構築を実施した。</p>	<p>【実施内容】 ・広陵町と株式会社愛和間で、交通施策に関する連携協定の実施細目である陣痛タクシーサービスに関する協力について、取り決めを交わした。 ・町助産師によるドライバーへの講習会を実施。 ・事業構築に当たり、先進事例の視察を実施。 ・医療機関への周知を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自治体と交通事業者の連携事業として、陣痛タクシーサービスが実施されるのは奈良県で初の取組となった。 現在、登録者は17人（令和7年5月16日現在） サービスの実施に伴い、運行事業者と連携を図る。

①実施概要	②実施詳細	③事業の評価、今後の方針・改善点
<p>●シェアサイクル事業の実施 広陵町地域公共交通計画に掲げる将来像「笑顔で出かけられるまち」を実現するため、現行の公共交通に加え、新たな移動手段として、レンタサイクル等の導入を検討していたが、北葛城郡4町で実施している「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」において、観光に主眼をおいた施策として実装されたシェアサイクル事業「HELLO CYCLING」が稼働したため、本事業を町内周遊のためのラストワンマイルの手段として活用した。</p>	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年10月にシェアサイクル事業の実証実験に関する基本協定をライフニジュウイチ株式会社及びOpenStreet株式会社と締結（取材2社）。 <p>【サイクルステーション設置箇所：11箇所】</p> <p>広陵町役場、広陵町総合保健福祉会館（さわやかホール）、広陵町立図書館、広陵中央公民館、竹取公園、百済寺公園、はしお元気村、牧野古墳、東部農村広場、真美ヶ丘メモリアル広場、フィットイージー広陵店</p> <p>※イズミヤ広陵店、エコール・マミ、スギ薬局、近鉄箸尾駅、馬見丘陵公園について現在調整中。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町内周遊のためのラストワンマイルの課題を解決する手段として、有用な取組となった。 他の公共交通との連携も含め、利用促進とサイクルステーションの拡充等の検討を行う。
<p>●広陵元気号利用ポイントカードの配布 町内の商業施設と連携し、無関心層の取り込みを行った。</p> <p>【実施内容】 「広陵元気号」の利用でポイントが貯まり、20ポイントで協賛店舗の指定商品と交換できるカードを配布（平成29年11月から継続中）。</p> <p>【協賛計8店舗】 「イズミヤ広陵店」「エコール・マミ」「エバグリーン広陵店」「コープなんごう」「スギ薬局」「DCM広陵店」「よってって広陵店」「長龍ブリューパーク」</p>	<p>【ポイントカード回収枚数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合計：598枚（令和5年度 473枚） (内訳) イズミヤ広陵店：197枚、エコール・マミ：215枚、エバグリーン広陵店：161枚、コープなんごう：13枚、スギ薬局：2枚、DCM広陵店：2枚、よってって広陵店：8枚 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度については令和5年度と比較して125枚（26%）回収枚数が増加した。ポイントカードが利用できることが認知されてきたこととともに、広陵元気号利用者数が増加していることが要因として考えられる。 モビリティマネジメントの観点から協賛店舗の拡充を図り、無関心層の取り込み、既存利用者の更なる利用満足度の向上を図る。
<p>●庁内部局との政策間連携 【広陵元気塾】 毎月開催されている広陵元気塾に訪問し、健康関心層に対して、広陵元気号の利用促進を行った。 【いのちを守るまちづくりイベント】 イベントにて車両を展示し、こども連れの若年層を中心に「広陵元気号」の利用促進を行った。</p>	<p>【広陵元気塾参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間：1,388人（令和5年度：1,361人） <p>【いのちを守るまちづくりイベント参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 622人（令和5年度 386人） <p>【かぐや姫まつりイベント参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 18,865人（令和5年度 23,329人） 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、庁内部局と政策間連携を行い、利用促進を図る。
<p>●「のるーと広陵元気号」ラッピングデザイン募集 令和6年度中に車両リニューアルを予定していたため、リニューアルに伴い、広陵元気号を町内外にPRするとともに、地域に根ざした親しみや愛着を持つもらえるコミュニティバスとして走り続けることを目的として、広陵町の未来を担っていく小学生からラッピングデザインを募集した。</p>	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内小学校5校の児童に対し、夏休みの自由課題として、「のるーと広陵元気号」のラッピングデザインを募集した。 <p>【応募作品数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5校合計：1,041作品（全校児童数2,164人の48%が応募） 最優秀賞3作品、優秀賞7作品、佳作22作品を選定した。 最優秀賞作品及び優秀賞作品は紙ファイルに印刷して児童に配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度、新たに取得する車両に最優秀賞の車両ラッピングを施す。 引き続き、町内小学生に対して「広陵元気号」が地域の公共交通であることを伝え、認知度向上や利用促進を図っていく。
<p>●バスの乗り方教室の実施 小学6年生（広陵北小学校のみ5年生）を対象に公共交通機関の一つであるバスについての知識を深め、公共交通のあり方を伝える講座を開催し、バスの利用促進を行った。</p>	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例年実施しているバスの基礎知識、乗車方法、交通安全に関するバスの乗り方教室に加えて、のるーと広陵元気号の説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、町内小学生に対して、広陵元気号を含む公共交通の利用促進及び安全知識等の習得に努める。